

学校 習志野市教育委員会 教育だより

体力向上



<http://www.city.narashino.lg.jp/kosodate/kyoiku/gakkyodayori.html>

習志野市鷺沼 2-1-1 電話 047-451-1151

令和元年5月28日発行 NO.105



習志野の子供たちの 体力向上のために

各小学校の横断幕



運動部活動指導者研修 (P. 3)



小学校陸上大会 (P. 2)



鹿野山少年自然の家
体験学習 (P. 4)



新設こども園 (P. 5)



5月16日(木)晴天の下、小学校陸上大会が実花小学校で行われました。開会式では、主催者から「素晴らしい返事・挨拶」「全力」「感謝の気持ち」をもって取り組みましょうという話がありました。選手も、役員の子供も、応援する人も、全員が意識して大会に臨み、活気ある大会になりました。

第105号 目次

- ◇《小学校陸上大会の結果》 2
- ◇《運動部活動指導者研修》 3
- ◇《鹿野山少年自然の家を体験して》
(屋敷小学校・東習志野小学校) 4
- ◇《大久保こども園》《新習志野こども園》紹介 . 5
- ◇《習志野高校の活躍》／《教育長コラム》 . . . 6

小学校陸上大会の結果

小学校陸上大会では、どの選手も日頃の練習の成果を発揮しようと一生懸命競技に取り組む姿勢が見られました。自分の持つ記録をこの大会で超えることを目指し、まさに「自分との戦い」に挑んでいて逞しさを感じました。

指導された先生方に、陸上大会に向けてどのようなことを取り組んできたか、また練習、本番を通して子供たちがどのように変容したかインタビューをしました。いくつか御紹介します。



1230m走

【職員の取り組みで心がけたこと】

- ・学年職員も子供たちも一致団結して練習に取り組むことで、子供たちに団結する大切さを理解してもらおうと努力しました。
- ・練習で記録がなかなか伸びない子供には、職員同士で情報を共有し、あきらめなくて頑張る気持ちを維持できるように職員で連携し、声を掛けました。



応援の様子



ハードル走



磨き合い
高め合い

【子供たちの変容・願い】

- ・最後まであきらめずに練習や競技に臨む姿が見られました。
- ・学校の代表としての自覚を持ち、大会に出られなかった仲間の分まで頑張るという気持ちで大会に臨んでいる姿に成長を感じました。
- ・運動会練習において、陸上大会に出場した選手たちが中心となって、率先して取り組み、後輩たちの模範となってほしいと思います。



走幅跳

結果	総合	男子	女子
優勝	大久保小学校	大久保小学校	谷津小学校
準優勝	津田沼小学校	津田沼小学校	大久保小学校
3位	谷津小学校	鷺沼小学校	津田沼小学校

長 縄

1位	屋敷小学校 4組
2位	東習志野小学校 2組
3位	東習志野小学校 1組



長縄跳



ソフトボール投



走高跳



運動部活動指導者研修



昨年度「習志野市運動部活動ガイドライン」が策定されたことを受けて、初めて実施された本研修会は、5月8日（水）、各中学校から管理職、部活動顧問、外部指導者などが参加しました。

指導課杉山主任指導主事によるガイドラインについての説明に続き、本市教育委員でもある、ふるもと整形外科院長古本敬明先生から、「部活動におけるスポーツ障害の予防」の御講義をいただきました。



運動部活動ガイドラインについて趣旨説明



古本先生からの講義



質疑応答

【参加者の感想】

運動部活動において、より効率的・効果的な指導を目指すためには、指導者の資質向上が求められます。杉山主任指導主事のお話の中で「生徒の心理面を考慮した肯定的な指導が効果が高い」ということがありました。勝利を目指す中で気持ちが昂ったり焦りが出たりすると、生徒に理不尽な言葉をかけてしまうことがありました。しかし、どんな状況においても冷静にその子にとって何が一番大切なことかを捉え、言葉をかけることが大切なのだと改めて感じました。

次に、古本敬明先生の講義では、怪我の種類やトレーニングの仕方など、選手に直接関わる内容が多く、大変参考になりました。一番印象に残っている言葉が、「指導者と医者は協力して選手にとっての最善を目指す。」という言葉です。選手の現状や実態を把握し、その時のベストを提案する。医師は「やらせたくない。」指導者は「出場させたい。」という状況は多々あります。そういった時に、選手の思いや将来も含めて、良い方法を探っていきたいと考えました。

私たち部活動指導者が今後目指すべき姿として、「指導者であるという自覚をしっかりと持つ」「学ぶ姿勢を常に持ち、知識を増やしていく」「選手の状態や実態を把握し、最善の選択をしていく」ことが大切であると、本研修を受けて、思いを新たにしました。（習志野市立第二中学校 中山 剛 教諭）



「習志野市運動部活動ガイドライン」は、単に活動の時間を減らすのではなく、合理的かつ効率的・効果的な活動を行うことで、限られた時間の中で高い効果を目指し、持続可能な運動部活動となることをねらいとしています。生徒、保護者、学校の合意形成を図りながら、豊かなスポーツライフを継続できる環境を整えていきましょう。

鹿野山少年自然の家を体験して



習志野市立屋敷小学校の体験(4月22日～24日)

6年生 山口 陽加 さん

1日目は、テント設営とナイトハイクをしました。テント設営では、先生方の詳しい説明により、班の人たちと助け合いながら、テントを設営することができました。ナイトハイクでは、夜の山道を歩いたことで、昼では気づくことができなかった自然の雄大さを知ることができました。この二つに共通することは、くじけそうになっても友達と励まし合い、あきらめずにできたことです。これからもいろいろなことを友達と協力して、最後までやりとげることができたらいいなと思いました。



6年担任 足立 彼方 教諭

習志野市で育った私も、6年生の時、テント泊やナイトハイクを体験しました。大人になった今でも記憶に残っている大切な思い出です。

恵まれた天候の中で体験できた屋敷小学校の子供たちにとっても、きっと大切な思い出になったと思います。テント設営では、友達と協力してやり遂げたことにより、子供たちに自信がついたように感じました。またナイトハイクでは、子供たち同士の励まし合いで、絆をさらに深めることができました。10年以上も続くこのような活動が子供たちのために今後も続いてほしいと思いました。



習志野市立東習志野小学校の体験(4月24日～26日)

6年生 山本 果怜 さん

平成最後・小学校最後のセカンドスクールへ行きました。1日目、まずは飯盒炊飯で、ご飯がもうすぐ炊けるという合図があることを知りました。みんなで作ったカレーライスが絶品でした。夜にはナイトハイクがありました。班のみんなで真っ暗な山を歩いて帰ってくるというものでした。とても怖かった人もいたようですが、私は経験ができてとても楽しかったです。

最後のセカンドスクールは、今までで一番楽しかったです。貴重な体験ができて、とても嬉しかったです。



6年 担任 馬場 美代子 教諭

本行事では、室長を中心に「けじめをつけ、考えて行動し、楽しいセカンドスクールにしよう」というめあてを定めました。昨年度末に行ったばかりであったため、自然の家でのルールや係の仕事内容をよく覚えている子供も多く、てきぱきと行動している姿が見られ成長を感じました。飯盒炊飯やキャンプファイヤー、火おこし体験では、理科「ものの燃え方」の学習にも関連付け、興味津々で炎を見つめたり、薪の位置を変えて試行錯誤したりと、セカンドスクールだからこそできる体験を楽しむことができました。その後の学校生活に生かせるように、班活動、友達への声かけなどへ繋げていきたいと考えています。



新設こども園の紹介



習志野市立大久保こども園

園長 池上 恭代

大久保保育所と新栄幼稚園が平成31年3月に閉園し、平成31年4月、大久保こども園として開園しました。習志野市の4番目の公立こども園となります。児童数は、0～2歳児の乳児が50名、3～5歳児の幼児が111名の計161名です。0～2歳児は、保育教諭に抱っこされていた4月に比べ、最近では笑顔で興味のあるものを見つけ歩くようになり、成長を感じております。幼児組は、進級したクラスの中に新入园児が入り、保育経験のある子供と4月に入园した子供の混合したクラスでのスタートとなります。今年度中に、園庭が完成し、令和2年4月のこどもセンター開園に向けての工事が行われています。今の環境を十分に活かしながら、一人一人が、安心して過ごせる園、保護者や地域の方々に親しまれる園を目指しています。そして、大切な乳幼児期に様々なことを体験し、自己肯定感をもって意欲的に生活できる子供に成長してほしいと思っております。



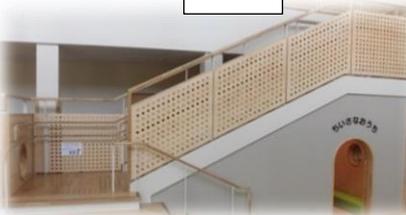
保育室



階段



遊戯室



習志野市立新習志野こども園

園長 伊藤 典子

本園の合言葉は「元気いっぱい・やさしさいっぱい・やる気いっぱい」です。伸び伸びと遊べる広い園庭では、3・4・5歳児が触れ合いながら思いきり体を動かして遊ぶことができます。香澄小学校と併設のこども園であることから、小学校との連携を図りながら、園児と小学生が日常的に交流をすることができ、就学への移行がスムーズです。こどもセンターでは、子育て支援の施設として地域の親子が気軽に遊んだり、子育て相談を利用できたりします。4月にスタートしてからたくさんの方に遊びに来ていただき、大変好評をいただいております。職員一人一人が健康で笑顔いっぱいに子供たちと関わり、より良い教育・保育活動を進められるよう力を合わせて取り組んでまいりたいと思っております。



遊戯室



保育室



昇降口



廊下

習志野高校の活躍

種目	大会名 受賞名	成績	受賞者名	備考	種目	大会名 受賞名	成績	受賞者名	備考	
野球	関東高等学校 体育大会 千葉県予選 会	優勝	8年ぶり 11回目	5/18(土)～ (埼玉県)	関東高等学 校体育大会 千葉県予選 会	男子団体 準優勝			6/1(土)～ 千葉県総合 スポーツセンター	
弓道		女子団体 優勝		6/8(土)～ 茨城県武道 館(水戸市)		体操	女子団体 準優勝			
ボク シング		女子個人 第5位	高橋 望				男子個人総合 第3位	高橋静波		国体選手
		団体優勝					準優勝			6/1(土)～ 宇都宮市清 原体育館 他
		ピン級 優勝	佐伯 侑馬				準優勝			6/1(土)～ 富士北麓体 育館
		フライ級 準優勝	石井 柊				団体 準優勝			6/1(土) ALSOK ぐんまアリーナ
		バンタム級 優勝	茂木 優耀	5/31(金)～ 茅ヶ崎市総 合体育館 (茅ヶ崎市)		男子 バレー	第3位			
		バンタム級 準優勝	高橋 孟				ソフト ボール	第5位		6/1(土)～ 千葉県 東金 アリーナ他
		ライト級 優勝	高橋 慶翔				女子 バレー	ベスト16		
		ライト級 準優勝	日向 和輝				女子 バスケ	男子団体 第5位	優秀選手賞 渡辺優輝	6/8(土) 東京武道館
		ウエルター級 優勝	松永 敦朗				剣道	女子団体 ベスト16		
		ミドル級 優勝	益子 日向					男子個人 第4位	渡辺優輝	6/8(土) 東京武道館
空手道			女子団体形 第3位							



～好きですふるさと習志野～



教育長コラム

「習志野市育英資金」という制度のあることを御存知でしょうか。将来の習志野市にとって有為な人材の育成と経済的な支援を目的に、高校生に対し月額9900円を支給する(返済不要)ものです。年度始めに希望者を募り、20人を上限として選考により決定しています。

先日、その交付式が行われました。式に臨む生徒の姿勢や目の輝きは、大変に素晴らしいものでした。さらに代表生徒(高3)から「部活動遠征費の一部に充て、思う存分に活動ができていることに感謝しています。」「将来は学校の教師になって恩返しをしたいと思っています。」といった立派な挨拶がありました。私は感動するとともに、この制度を大切にしていきたいと思いました。

さて、子供たちの夢を叶え、可能性を伸ばすことが学校教育の使命です。そのことを果たすためにも高い水準の教育の提供が求められ、先生方一人ひとりの指導力(学習・スポーツ・文化活動…)の向上が不可欠となります。一方で教員の働き方改革や部活動ガイドラインはクリアしなければならない課題です。先生方には今一度、「全ては子供たちのために」という視点で、日々の仕事や研修(自己研鑽を含む)を見直していただきたいと思っています。

教育長 小熊 隆